



年末特別警戒の実施



県民の皆さんが安心して新年を迎えられるように、事業所や一般住宅などに対する侵入窃盗や電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害、各種事故の発生を防止するため、検問やパトロールなどの警戒活動を強化します。

実施期間

令和7年12月15日（月）～12月31日（水）

スローガン

年の暮れ みんなでつくろう 安心のまち

年末の交通安全運動

実施期間 12月15日（月）～12月31日（水）

① 夕暮れ時と夜間の交通事故防止

- ・ 安全確保のため薄暗くなる前に、早めのライト点灯を心掛けましょう。
- ・ 先行車や対向車がないときはハイビームを活用し歩行者をいち早く発見しましょう。
- ・ 夕暮れ時や夜間に外出するときは、反射材を着用して自分の身を守りましょう。



② 自転車・特定小型原動機付き自転車の交通ルールの遵守とヘルメットの着用促進

- ・ 交差点や見通しが悪い場所では、一時停止・安全確認を必ず行いましょう。
- ・ 令和8年4月から自転車への交通反則通告制度が施行されます。ルールを遵守しましょう。



③ 高齢運転者の交通事故防止

- ・ 通い慣れた道でも、一時停止と安全確認をしっかりと行いましょう。
- ・ 運転に不安を感じたら、家族や、安全運転相談窓口（#8080）などに相談しましょう。
- ・ 安全運転支援機能が充実したサポカーへの乗り換えを検討しましょう。



④ 飲酒運転・妨害運転の根絶

- ・ 飲酒運転は重大事故の原因となり、多くの人生を台無しにします。飲酒運転を絶対しない、させない、許さない環境を作りましょう。
- ・ 妨害運転（あおり運転等）は飲酒運転と同じく悪質危険な行為ですので絶対やめましょう。



長野県交通安全スローガン

信濃路は みんなの笑顔 つなぐ道



<< 裏面も確認して下さい >>



冬山遭難防止



県内の山岳は、厳しい雪山の様相となり、本格的な冬山シーズンを迎えます。

例年、スキー場のコース外滑走やバックカントリー遭難、悪天候による行動不能や道迷い遭難などが多発しています。

冬山で行動不能になると、低体温症等の危険が高まり、死に至るケースもあります。

長野県の冬山の特徴として、北アルプスなど県北部の山岳では、周期的な厳しい寒気の入り込みにより、吹雪が数日間も続くことがあり、また八ヶ岳や中央アルプスなど県中部や南部の山岳では、好天でも気温が低く、強風が吹き荒れることがあります。

冬山は、吹雪や積雪などの自然条件に大きく影響されるため、ほかのシーズンに比べ、多くの装備を持つ強じんな体力や高度な技術、判断力が必要になります。

救助活動についても、積雪や悪天候に阻まれて迅速に行うことができないことがあり、遭難者が救助されるまで、数日に及ぶビバークを余儀なくされることもあります。

登山をされる皆さんは、体調管理を万全にするとともに、少しでも不安のある場合には、登山を中止しましょう。

冬山の厳しさを認識した上で、次の点に注意して安全登山に心掛けてください。

○ 余裕のある登山計画を立てる

日程や登山コース、危険箇所などを参加者全員で十分に検討し、それぞれの**体力や技術に合った余裕ある登山計画**を立てましょう。

積雪期の登山ルートは夏道と異なる箇所が多いため、コースを熟知している人がいなければ、入山は危険です。



○ 行動予定は家族等と共有

電子申請などインターネット等を活用し、**必ず事前に登山計画書を作成・提出し**、家族や友人、職場等にも共有しておきましょう。

特に単独登山者は、下山できなくなった場合に、捜索の手掛かりとなるため、必ず届出と共有をしましょう。



○ 単独登山は要注意

単独登山は、遭難時に救助要請ができない場合があります。

また、行動中の様々な判断や対応を、1人で行わなければならないことから、**大きなリスクを伴いますので注意が必要です。**



○ 十分な日程と装備で

冬山は悪天候が続きます。

停滞を見越した余裕のある日程で、燃料や食糧を十分準備しましょう

また、ビーコン等の装備品の取扱いに習熟し、**携帯電話などの通信手段の確保や予備バッテリーの携行も重要です。**



○ 最新の気象情報を確認

積雪が多い山域は雪崩のリスクが高まります。入山前から、必ず最新の気象情報を確認しましょう。また、前線や低気圧の通過、冬型の気圧配置が強まる等の場合は、山の天気は大荒れとなりますので、入山は中止しましょう。

